

拓く ひらく

人の話は目と心で聴く みんなが光、自分が後 気づき、考え、行動する

明石市立衣川中学校 第1学年
学年通信 No. 26
2018年(平成30年9月20日)

体育大会があったから...

私はマスゲームの時、先生がおっしゃってくださった「助け合う」ということを学びました。私は初めマスゲームは難しいと思いました。でも仲間みんなで助け合いしっかりと先生の話聞いて本番はみんなで成功させることができ、助け合うことは本当にいいことだと思いました。これからも続けていこうと思いました。

マスゲームではみんなと息を合わせて行動すること、自分勝手な行動をしないということを学んだ。でも、みんなと合わせるだけではなく、自分もしっかりとカウントをとったりしなければいけないので、まず自分がしっかりし、その上でみんなで合わせる事が大切だということを学んだ。

みんながお互いに声をかけあっていて、すごいことだと学びました。意外に声をかけ合うのは難しいことだと思うけど、それが常にできていて、この学年はすごいと感じていました。

何事もあきらめずに一生懸命するとうまくいくということがわかりました。また、協力し合うことが大切だということもあらためて学びました。

良かったことはすごく多かったけど、まだまだ課題はあると思います。特に歌はもう少し大きな声で歌えると思います。私語が多くてふざけてしまう人がいることが課題だと思います。

私たちは体育の先生や担任の先生の話聞き動くことができたと思います。だけど次のことを考えて行動するということは、もっと頑張らなければいけないことだと思いました。

むだな私語や時間をなくすことで、少しでも練習を多くできたと思いました。でも2週間という短い期間で、みんな頑張った本番は負けたけど、達成感がありました。

良い体育大会かどうかは、勝ち負けではないことが実感できましたね。

文化発表会も部活動の大会も、もっと言えば定期テストも中学校生活も、自分の満足感や達成感を決めるのは結果ではないのです。そこまでの日々を、自分がどう過ごしてきたのか。そして、そのことは誰よりも自分自身が知っているのです。

日々の生活の中で何を学び、どう成長していったのか。自分が変わり成長することは誰もが嬉しく感じる事なのです。毎日の日々を、自分で自分が心から好きになれる生き方を重ねてほしい。この機会に、勇気と強い決断を持って、今までと少し違った行動(生き方)を具体的に実践していくことです。

